

V. 総合型選抜

各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 5人
出 願 要 件	1. 次のア.～ウ.のいずれかに該当する者 ア. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 イ. 通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和9年3月までに修了した者及び修了見込みの者 ウ. 令和7年4月から令和9年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及びにこれに該当する見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有する者 3. 卒業後は、宮崎県の小学校教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後、小中一貫教育コース小学校主免専攻宮崎県教員希望枠入学者に設定される教育プログラムを受講できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 書類審査（出願書類：調査書、自己推薦書、志望理由書、課題探究型学習に関する調書及びプレゼンテーション資料）により選抜します。 （第2次選考） 小論文（英文読解を含む場合があり、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします）、面接、課題探究型学習に関する口頭試問（プレゼンテーションを含む）及び第1次選考の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年9月24日（木） ～ 9月28日（月）
選 抜 期 日	（第2次選考）令和8年11月21日（土）・22日（日） ※志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。
合 格 発 表 日	（第1次選考） 令和8年11月2日（月） （最 終） 令和8年12月4日（金）

<配点>

	書類審査	面接	課題探究型学習に関する口頭試問		小論文	合 計
第1次選考	300					300
第2次選考		300	プレゼンテーション	質疑応答	200	900
			100	300		
計						1200

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	8人 ※選択できる教科：音楽・美術・保健体育 ※募集人員は選択できる3教科全体で8人ですが、原則として「音楽」2人、「美術」2人、「保健体育」4人とします。
出 願 要 件	1. 次のア.～ウ.のいずれかに該当する者 ア. 高等学校を令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有する者 3. 選択した教科の教育に対する熱意を有する者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 面接・書類審査(出願書類：調査書、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書)、各教科の定める個別審査(49ページ参照)により選抜します。 なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。 (第2次選考) 面接(プレゼンテーション・実技等を含む場合があります)、小論文(英文読解を含む場合があります、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします)及び第1次選考の結果を総合して選抜します。 ※第1次選考時に課した課題は、面接の基礎資料とします。
出 願 期 間	令和8年9月24日(木) ～ 9月28日(月)
選 抜 期 日	(第1次選考) 令和8年10月17日(土)・18日(日)※ (第2次選考) 令和8年11月21日(土)・22日(日)※ ※いずれの選考も志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和8年11月2日(月) (最 終) 令和8年12月4日(金)

＜各教科の定める個別審査等の内容＞

教科名	個別審査の内容
音楽	実技（ピアノ、声楽又は管弦打楽器から選択）
美術	実技（鉛筆デッサン、紙工作を含む）
保健体育	実技（陸上競技、器械運動、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、柔道の中から当日こちらが指定するもの）

＜配点＞

	書類審査	面接①	面接②	各教科の定める 個別審査	小論文	合 計
第1次選考	200			400		600
第2次選考			200		400	600
計						1200

区 分	総合型選抜Ⅰ					
学部・学科等名	工 学 部 工 学 科					
	化 学 生 命 プログラム	土 木 環 境 プログラム	半導体サイエンス プログラム	電気電子システム プログラム	機 械 知 能 プログラム	情 報 通 信 プログラム
募 集 人 員	2	2	2	2	2	2
出 願 要 件	1. 高等学校を令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 志望プログラムに対する熱意を有する者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。					
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 自己推薦書、調査書及び活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、各プログラムとも募集人員の4倍程度とします。					
	(第2次選考)					
	プログラム		検査項目			
	化学生命プログラム		筆記試験（数学）、小論文、個人面接（口頭試問を含む）			
	土木環境プログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
	半導体サイエンスプログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
	電気電子システムプログラム		筆記試験（数学）、小論文、個人面接			
	機械知能プログラム		筆記試験（数学）、個人面接（口頭試問を含む）			
	情報通信プログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
第1次選考と第2次選考の結果を総合して選抜します。						
出 願 期 間	令和8年9月24日（木）～9月28日（月）					
選 抜 期 日	（第2次選考）		令和8年11月16日（月）			
合 格 発 表 日	（第1次選考）		令和8年10月 20日（火）			
	（第2次選考）		令和8年12月 4日（金）			

<配点>

第1次選考

プログラム	書類審査	筆記試験	小論文	面接	合 計
化学生命プログラム	100	—	—	—	100
土木環境プログラム	100	—	—	—	100
半導体サイエンスプログラム	100	—	—	—	100
電気電子システムプログラム	100	—	—	—	100
機械知能プログラム	100	—	—	—	100
情報通信プログラム	100	—	—	—	100

第2次選考

プログラム	書類審査	筆記試験	小論文	面接	合 計
化学生命プログラム	100	100	60	240 ※	500
土木環境プログラム	100	200	—	200 ※	500
半導体サイエンスプログラム	100	200	—	200 ※	500
電気電子システムプログラム	100	100	100	200 ※	500
機械知能プログラム	100	100	—	300 ※	500
情報通信プログラム	100	200	—	200 ※	500

※面接において、工学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判断した場合には不合格となる場合があります。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース
募 集 人 員	8人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月3日(木)
選抜期日	(第2次選考) 令和8年9月28日(月)・29日(火)
合格発表日	(第1次選考) 令和8年9月11日(金) (第2次選考) 令和8年11月2日(月)

<配点>

	書類審査 (調査書・自己推薦書・活動報告書)	模擬講義等の受講 及びレポート作成	個人面接	合計
第1次選考	100			100
第2次選考	10	50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 森林環境持続性科学コース
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月3日(木)
選抜期日	(第2次選考) 令和8年9月28日(月)・29日(火)
合格発表日	(第1次選考) 令和8年9月11日(金) (第2次選考) 令和8年11月2日(月)

<配点>

	書類審査			模擬講義等の 受講及びレポ ート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 海洋生命科学コース
募 集 人 員	4人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校の普通科（あるいはこれに準ずる学科）を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日（火）～ 9月3日（木）
選抜期日	（第2次選考）令和8年9月28日（月）・29日（火）
合格発表日	（第1次選考）令和8年9月11日（金） （第2次選考）令和8年11月2日（月）

<配点>

	書類審査			模擬講義等の 受講及びレポ ート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 応用生命化学コース
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校の普通科、総合学科、農林水産業（食品関係も含む）及び工業（生物工学系）に関連のある学科を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、筆記試験及び個人面接を課します。 筆記試験は化学（化学基礎を含む）と英語を課します。ただし、化学は「高分子化合物」を出題範囲から除外します。また、英検2級以上、あるいはGTEC（4技能）オフィシャルスコア930点以上を有する者は、英語の筆記試験を免除し、満点とします。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日（火）～ 9月3日（木）
選抜期日	（第2次選考）令和8年9月28日（月）・29日（火）
合格発表日	（第1次選考）令和8年9月11日（金） （第2次選考）令和8年11月2日（月）

<配点>

	書類審査		筆記試験	個人面接	合計
	調査書・活動報告書	自己推薦書			
第1次選考	60	40			100
第2次選考	50		150	100	300

区 分	総合型選抜Ⅱ									
学部・学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、 海洋生命科学コース、応用生命化学コース									
募 集 人 員	<table><tr><td>動植物資源生命科学コース</td><td>12 人</td></tr><tr><td>森林環境持続性科学コース</td><td>5 人</td></tr><tr><td>海洋生命科学コース</td><td>14 人</td></tr><tr><td>応用生命化学コース</td><td>3 人</td></tr></table>		動植物資源生命科学コース	12 人	森林環境持続性科学コース	5 人	海洋生命科学コース	14 人	応用生命化学コース	3 人
動植物資源生命科学コース	12 人									
森林環境持続性科学コース	5 人									
海洋生命科学コース	14 人									
応用生命化学コース	3 人									
出 願 要 件	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)(5)に該当する者 (1)高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (4)志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (5)合格した場合は入学を確約できる者 ※ 上記(3)に該当する者のうち、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者には入学資格を認めます。									
選抜方法等	大学入学共通テストの成績及び出願書類（調査書、自己推薦書、活動報告書）の結果を総合して選抜します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目名 〈動植物資源生命科学コース〉 ・ 国（国語） ・ 数（「数Ⅰ，数A」と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・ 理（物、化、生から 1） ・ 外（英（リスニングを含む）） ・ 情（情報Ⅰ） 〔5 教科 6 科目〕 〈森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース〉 ・ 数（「数Ⅰ，数A」と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・ 理（物、化、生から 1） ・ 外（英（リスニングを含む）） 〔3 教科 4 科目〕									

	〈応用生命化学コース〉 ・国（国語） ・地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、 （「地総／歴総／公共」から2） ・数（「数Ⅰ、数A」と（「数Ⅱ、数B、数C」）の2 ・理（化） ・外（英（リスニングを含む）） ・情（情報Ⅰ） 〔6教科7科目〕 ※地歴・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、<u>応用生命化学コースにおいては、化学を第1解答科目として受験してください。</u> ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和9年1月20日（水）～1月26日（火）
選 抜 期 日	書類選考
合格発表日	令和9年2月10日（水）

<配点>

	大学入学共通テスト						書類審査 （調査書・自己推薦書・ 活動報告書）	合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報		
動植物資源生命科学コース	100	-	200	200	200	100	100	900
森林環境持続性科学コース	-	-	200	200	200	-	100	700
海洋生命科学コース	-	-	200	200	200	-	50	650
応用生命化学コース	100	50	200	200	200	50	150	950

大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ150点、50点とします。なお、リスニングを免除された者は、リーディングの得点を200点に換算します。